DXの推進

デジタル技術を活用して快適・便利で幸せな生活を送れるまちづくりを進めます。

■産学官民連携によるデジタル人材育成事業……1200万円

地域経済の活性化や地方創生の推進に向けて、産学官民が連携して話し合う検討部会を立ち上げ、女性や高齢者など幅広い市民の活躍推進につながるデジタル人材の育成モデル事業を実施します。

■デジタル・デバイド(※)対策の推進……800万円

デジタル機器に不慣れな高齢者などを対象に体験型セミナーなどを開催します。

※コンピュータやインターネットなどの情報技術を利用できる人とそうでない人の間に生じる、貧富や機会、社会的地位などの格差。

感染症に対し強靭(きょうじん)で安心できるまちづくり

新型コロナウイルス感染症から市民の健康と生活を守り、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

■感染症患者への自宅療養支援……6800万円

新型コロナウイルスに感染し、自宅で療養する人が外出せずに療養に専念できるよう、食料品などの生活必需品を配送し支援します。また、悪化が疑われる自宅療養者へのオンライン診療や、往診・訪問看護など医療提供体制を整備します。

■PCR検査体制の確保……10億6400万円

市と民間検査機関においてPCR検査を実施するとともに、身近な診療所などで行う検査を自己負担なしで実施できるよう体制を整備します。

※初診料(再診料)や手技料など、検査費用以外の自己負担分は公費負担となりません。

令和4年度

一般会計予算の概要

予算とは市の1年間の収入と支出の見積りであり、行政サービスの具体的な内容を示したものです。令和4年度予算のうち、市の基本的な行政サービスに関わる一般会計の予算について紹介します。

予算の規模 令和4年度の予算額は、障害福祉サービス事業などの扶助費が増加する一方で、中小企業融資の減少などにより、前年度より339億円減の6082億円となっています。

歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動停滞からの持ち直しを見込んだことなどにより、市税などの一般財源は前年度比21億円の増となったほか、公営競技事業から前年度と同額の50億円を繰り入れ、財源確保を図りました。歳出では、新型コロナウイルス感染対策や成長戦略の実行、子育て・教育環境などの充実に予算を確保しています。

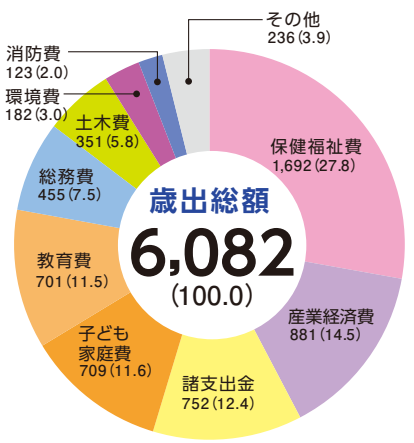
会計別の予算規模

一般会計
6,082億1,800万円
[前年度比]▲5.3%

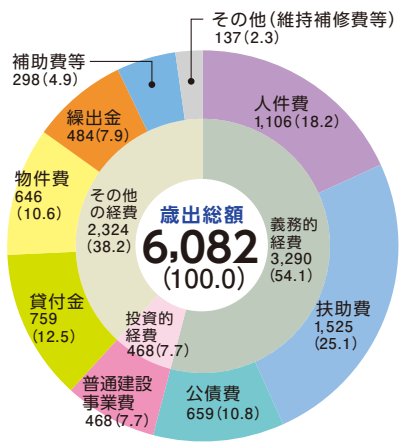
特別会計(国民健康保険など)
3,954億8,500万円
[前年度比]▲1.4%

企業会計(上下水道・交通など)
2,627億8,500万円
[前年度比]▲2.5%

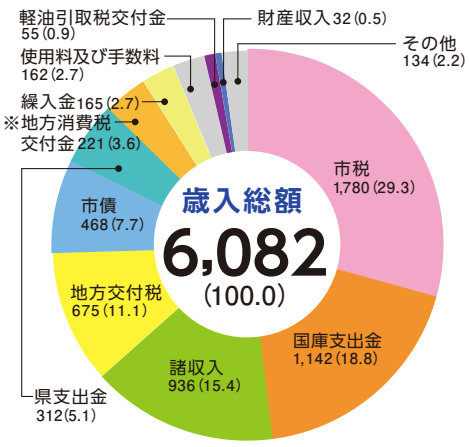
歳出[目的別]



歳出[性質別]



歳入の内訳



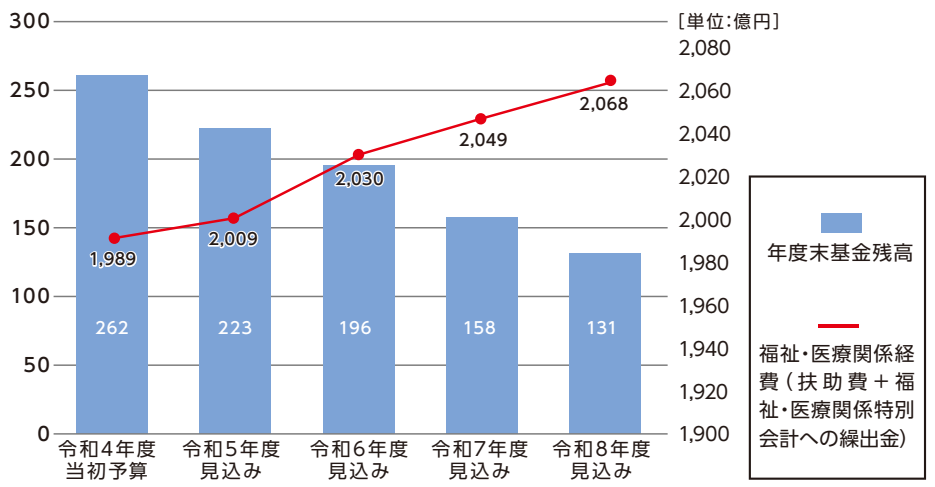
[単位:億円(　　)内は構成比%]

※地方消費税交付金のうち、消費税率の引き上げによる増加分120億円については、社会保障施策に要する経費の財源として活用しています。

中期財政見通し

中期財政見通しは、令和4年度当初予算を基礎として、一定の条件の下で当面5年間の試算を行ったものです。今後も福祉・医療関係経費の増加傾向が続くことなどから、市の貯金である財源調整用基金残高の減少が見込まれます。そのため、行財政改革に取り組むとともに、毎年度の予算編成の中で財源の確保や歳出の見直しを行っていきます。

■中期財政見通しにおける財源調整用基金残高と福祉・医療関係経費の推移



市民1人当たりの予算(一般会計)の使いみち

一般会計予算を市民1人当たりに換算すると、
約65万円となりこのように使われます。

- **■保健福祉費** 福祉・健康・医療の充実 **18万1千円**
- **■産業経済費** 産業学術・観光振興 **9万4千円**
- **■諸支出金** 市債の返済など **8万円**
- **■子ども家庭費** 子育て支援 **7万6千円**
- **■教育費** 学校教育 **7万5千円**
- **■総務費** 行政運営、市民活動支援、文化振興 **4万9千円**
- **■土木費** 道路・河川・公園などの整備 **3万7千円**
- **■環境費** ごみ処理、低炭素社会づくり **1万9千円**
- **■消防費・その他** 消防・救急活動、住宅の整備、岸壁の整備など **3万8千円**

※人口は93万6415人(令和3年12月31日現在の住民基本台帳人口)で計算

令和4年度予算について詳しくは 令和4年度 北九州市当初予算

この特集に関するお問い合わせ 財政局財政課 ☎582・2002